

「一般教養としての知的財産知識」

昨年10月、環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉が大筋合意されました。TPP協定は、関税の撤廃などにより貿易の自由化を進め、さらには幅広い分野で21世紀型のルールを構築するものです。このルールのひとつに知的財産分野があります。TPP経済圏は現時点で参加12カ国、経済規模は3,100兆円と想定されています。

世界全体の約4割を占めるTPP経済圏の中で、商品やサービスを自由に流通させるためには、知的財産に関するルールも統一してゆかなければなりません。なぜなら、国によって知的財産に関するルールが異なれば、ある国では自由に販売できたものが、ある国では販売できないということになり、自由な貿易が妨げられてしまうからです。

従来、知的財産に関するルール(法律など)は、一部の専門家や企業内でも関連する部署の人が理解していればよいとされてきました。しかし、知的財産に関するルールは特許や商標だけではなく、わたしたちが普段なにげなく聞いている音楽、ネット上にある画像など身近なところで関係がある著作権などもそのひとつであり、われわれの生活と密着したものです。

このような時代に知的財産に関するルール(法律など)の知識がないと、なにげなく行った行為が知的財産権の権利侵害という犯罪行為となり、わたしたち自身が犯罪者になってしまうおそれもあります。

ルールを知らずにゲームに参加することはできません。しかし、みんなが知的財産に関するルール(法律など)をすべて理解する必要はありません。例えば、サッカーというゲームを楽しみたいと思えば、「ゴールキーパー以外のプレイヤーはボールに手を触れてはいけない」という程度の簡単なルールを知っていれば十分なはず。難しいルール解釈や適用は審判やコーチなどが知っていればよいのです。

このように「知的財産」は一部の人が専門的な知識として知っておけばよいのではなく、みんなが「一般教養」として知っておくべき時代になってきました。大学においても、一般教養としての知的財産を学べる場をつくってゆきますので、「知的財産は難しい」「知的財産って専門家の仕事でしょ」「知的財産ってなんだか暗いイメージ」とは思わず、明るく楽しく学んでいただきたいと思います。

産学官連携推進機構
知的財産部門長 富畑 賢司



〈お問合せ先〉
〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地
TEL:097-554-7969 FAX:097-554-7969
E-Mail:coordinator@oita-u.ac.jp



NEWS LETTER

大分大学産学官連携推進機構



2016年度
第8号

活動報告

技術交流会を開催しました



大分の産学の技術的交流を深めることを目的として、平成28年1月14日(木)にレンブラントホテル大分にて、「最先端のエネルギー・エンジン研究分野」、「大分大学の企業との共同研究分野」の2つのテーマからなる技術交流会を開催しました。また、講演会終了後に行われた情報交換会では、活発な意見交換が行われました。

異業種交流会を開催しました



東九州メディカルバレー構想推進事業として、地方における産学官連携による医療機器開発の現状と課題について多方面からの分析を行い、今後の東九州発の医療機器創出の礎とすることを目的としたセミナー「地方からの国産医療機器開発への道」を平成28年1月22日(金)にレンブラントホテル大分にて開催しました。シンポジウムでは多分野からのシンポジストにお集まりいただき、さまざまな角度から議論していただきました。

医工連携セミナーを開催しました



大分地域の異分野連携から地域活性につなげるための議論の場として平成28年1月28日(木)に大分県労働福祉会館ソレイユにて開催しました。講演内容は医工連携から防災まで多岐にわたりますが、これらの有機的な結合によって地域活性へのイノベーションを創出することが狙いです。企業や自治体から70名を超える多くの方に来場いただきました。

宇佐市産学交流会を開催しました



平成27年12月1日(火)に宇佐ホテルリバーサイドにて、大学からの情報提供と宇佐地区に関する意見交換を目的として、宇佐商工会議所とともに宇佐市産学交流会を開催しました。宇佐地区の企業からの事例発表後、本学からは、経済学部の松尾教授による「イノベータの経営方法 ～Forbes『世界イノベーション企業2015』を資料として～」、産学官連携推進機構 知的財産部門長の富畑教授による「知財活用と知財マネジメント～自分の魅力を認識するために～」をテーマとした講演を行いました。

活動紹介

大分大学 URA チームの研究推進・産学官連携活動支援

～知的創造サイクルの好循環を目指して～

URAチームは、研究の入り口(外部資金の獲得など)から研究の出口(成果の社会還元など)まで一貫通貫のサポートを行い、知的創造サイクルの好循環をもたらすことを目指しています。
平成27年4月に設置された大分大学URAチームを紹介します。

URAチーム統括マネージャー 原田 道雄
URA(研究推進担当) 安部 恵祐



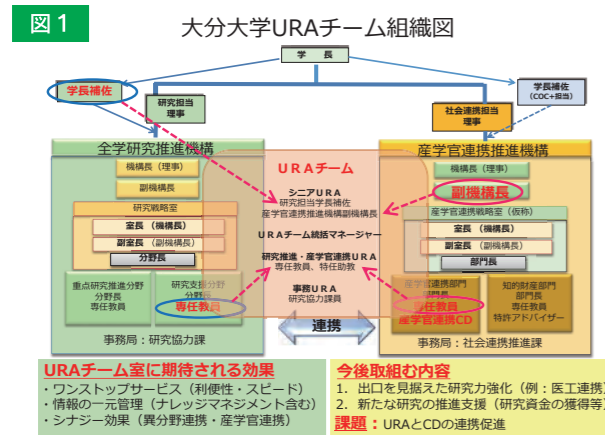
写真1

1. URAとは

URAとはUniversity Research Administratorの略で、研究面から、大学マネジメント支援を行い、教員と事務の調整・管理などを行う役割です。

2. 大分大学URAチームの構成 (図1、写真1参照)

平成27年4月、大分大学URAチームは、全学研究推進機構(研究戦略推進担当)と産学官連携推進機構(産学官連携推進担当)の両機構の連携を向上させる目的で設置されました。
特長として、2人の専任URAのほか、外部資金獲得、研究支援、産学官連携活動に豊富な経験を持つ教員・事務職員を兼任URAとし、研究から産学官連携まで支援できる構成にしました。



3. 産学官連携CDとの活動 (図2参照)

URAチーム室を産学官連携コーディネーター(CD)室と同一フロア(産学官連携推進機構棟2F)に設けて、物理的にも連携力を強化しました。URAと産学官連携CDとの連携により、研究の入り口(外部資金獲得など)から出口(成果の社会還元)にいたる一貫通貫のサポート体制が整備され、知的創造サイクルの好循環が促進されつつあります。(図2参照)

図2 URAとCDの連携による戦略的な知的創造サイクル



4. URAチーム室の活動

【プレアワード業務】※1

(外部資金情報の収集と発信)

- ① 各種外部資金の情報収集を行い、適宜研究者へ情報を発信しています。また、CDと連携して、助成情報を研究者や関連企業の方にご案内することもあります。
- ② 希望する研究者へ月1回メールマガジンとして助成情報を配信しています。自身の研究分野をお知らせいただければ、月に1度、関連分野の助成情報を案内しています。

(申請書作成支援)

- ① 大型事業申請支援(写真2)
 - ◇ COC+事業の申請書作成を行うための情報収集・挿絵作成・文章執筆・ブラッシュアップ等の支援活動を実施し本事業は平成27年9月28日に採択されました。



写真2

② 科研費申請支援

- ◇ 科研費申請書:過去の可否申請書と審査項目から、陥りやすい弱点を分析し、科研費申請書の一般的なテンプレートを作成し、学内で配布(紙媒体)しました。
- ◇ 科研費説明会(写真3):過去の科研費申請書の多角的な分析結果(弱点分析・各細目平均点等)を紹介しました。さらに科研費申請書の書き方についてもテンプレートを使って解説しました。
- ◇ 申請書ブラッシュアップ支援(70件支援):医学部を中心に、全学的に支援を実施しました。主に若手B・基盤BCの研究者の支援行いました。



写真3

③ その他助成申請支援・相談

- ◇ 若手B・基盤C層から基盤B層へステップアップを希望する研究者に安心して挑戦できる制度を整備しました。
- ◇ 各種助成申請書の書き方や研究に関する相談を受けました。
- ◇ ヒアリングや成果報告に関する相談等に対応しました。

(研究力分析)

- DB情報を用いた研究力分析
 - ◇ 新規研究領域の創出等を目指して、各種情報やDBを用いて、全学～各研究者単位で研究力を分析しています。

(研究グループ形成)

- ① 学内研究者チーム形成支援(異分野グループ形成支援)
 - ◇ 医工連携グループ形成支援として、医工連携研究の支援を実施しています。
 - ◇ 文理融合グループ形成支援として、学内研究者グループ認定制度を設け、自由な発想に基づく研究や地域課題解決に向けた社会的イノベティブ研究の推進等を図っていく予定です。
- ② 知的財産戦略支援
 - ◇ 既存の研究者グループの知財戦略支援を行いました。

(その他)

- 第3期中期目標計画策定
 - ◇ 本学の、第3期中期目標計画やアクションプランの作成支援を行いました。

【ポストアワード】※2

(研究倫理啓発活動)

- ① 安全保障輸出管理
- ② 研究者倫理(利益相反含む)等の相談・FD活動

(アウトリーチ活動)

- ① RA協議会(写真4)
 - ◇ 平成27年9月1～2日に信州大学で大分大学のURAチームの取組みを紹介しました。



写真4

- ② 重点領域研究成果報告会を大分大学学術セミナー(「スターサイエンティストのスーパープレゼンテーション」)として実施する企画及び開催を支援しました。
- ③ 医工連携セミナー
 - ◇ 医学部や病院のニーズを分析する支援を行いました。結果は、医工連携セミナーで、企業の方へ紹介されました。
- ④ 「科学技術人材育成コンソーシアムの構築事業」の講演会
 - ◇ URA等の研究支援人材を育成する「多能工人材に関する事業説明講演会」の開催支援を行いました。

(教育改革支援)

- COC+事業の教育改革に関する情報収集・企画・立案
 - ◇ COC+事業で実施する教育改革等に関する素案の作成支援をしています。

【今後の予定】

次のような業務などを行っていきます。

- ① 大分大学研究者MAPの作成
- ② 若手リーダー人材の発掘と支援
- ③ 論文執筆支援

URAチームは、本学教員の研究を支援し、さらにその研究成果を基にした、企業や自治体の皆様との産学官連携活動を産学官連携CDと連携して行ってまいります。
何かお困りのことなどありましたら、下記連絡先へ遠慮なくご連絡ください。

大分大学産学官連携推進機構棟2F
URAチーム室(原田、安部)

TEL:097-554-7672,7673 FAX:097-554-7666
E-mail: oita-ura@oita-u.ac.jp

- ※1 外部研究資金獲得支援等の業務
- ※2 研究実施の支援等の業務